

select

nippon

八丁みそ入りマカロン

【愛知】洋菓子店「メゾン・ド・ジャンノエル」を経営する名古屋城最中本家(名古屋市)は八丁みそ入りのクリームを使ったマカロン「鮫(しやち)たまご」(別名「みそまかろん」)＝写真＝を売り出した。名古屋名物の八丁み



そを使って新たな菓子を作ろうと同社が開発した。かすかなみその辛みが、クリームの甘みを引き立てる。
お土産として広く買ってもらうため、日持ちするよう工夫した。小袋一つ一つに脱酸素剤を同封し、賞味期限を1カ月まで伸ばした。
しょうゆで「井」の印を入れ、和風を表現したところもポイント。
8個入りで840円。通信販売のほか、名古屋城と県営名古屋空港の売店でも販売している。

酒かす使い 甘酒ジャム

【神奈川】水産加工物メーカーのしいの食品(神奈川県小田原市、椎野雅之社長)は、酒かすなどを使って甘酒風味に仕上げたジャム「甘酒ジャム キャラメルクリーム」＝写真＝を発売した。ほんのり香るこうじと、控えめな甘さが特徴。
酒かすを10%配合。生キャラメルのような柔らかい舌触りに仕上げた。クセのある酒かすのにおいを抑え、甘酒に含まれるこうじの香りを強調した。
トーストのほか、イチゴに付けたり、紅茶やココアにも合うとい



う。お湯に溶かすと甘酒のように楽しめる。
同社の主力商品は、魚の胃腸の一部を塩漬けにして1年間熟成させて作る酒盗。
その製造過程で出る酒かすを生かした製品をつくれないうかがどうか検討したのが今回の開発のきっかけという。140g、525円(税込み)。

1) 当地 ニューフェイス

公共工事をめぐる官製談合の芽を断ち切ろうと、行政の裁量が増えにくい一般競争入札の導入を柱にした自治体の入札改革。だが、過当競争による収益悪化から建設業者の倒産が増える中、地元配慮のため「談合の温床」と指摘されてきた指名競争入札を一部復活するなど揺り戻しの動きが広がり始めている。足元の景気悪化がこうした流れに拍車をかけており、入札制度のあり方が改めて問われている。

一般競争入札の拡大

実現できた	27
実現できていない	15(都道府県数)

(調査の概要) 本社は全国47都道府県知事を対象に入札制度改革に対する考え方などを聞いた。調査票を昨年12月末に郵送し、1月22日までに回収した。回収率は100%だが、質問によっては回答率は100%になっていない

圧力に抗しきれず、〇八年四月から一千万円未満の一部工事で指名入札を試験的に実施した。全廃してからわずか半年での復活だった。

競争か地域貢献か

福島県

揺れる

公共工事を巡る談合汚職事件で前知事が逮捕された福島県。二〇〇六年秋、出直し選挙で当選した佐藤雄平知事の下、指名競争入札を廃止し一般競争入札を導入するという基本方針で入札制度改革が始まったが、

工事依存度が高い(長野市内)

につなげたといえるが、一方で〇六年度にはなかった「応札ゼロ」の入札が約五十件あった。利益の低い工事を業者が避けたとみられ、中には災害復旧など緊急性の高い工事もあった。建設業界は「過当競争で

指名入札 半年で

間や時間がかかる点などがネックで、全面的な導入には至っていない。

百七十社にまで減った。気悪化で業界の危機感を持っており、県議会

入札改革の一環として、県は地元企業の受注機会の確保を目的に「総合評価方式」も試みている。入札額の低さだけでなく、企業の技術力や地域貢献度などを加味し判断するものだ。過熱する安値競争に歯止めをかけ、品質維持にもつながることが期待されるが、手

県建設業協会によると、〇六年度初めに約二社いた会員が、現在

公共工事の入札金の(適正)「税金の(適正)方」を基準に決だ。建設業界やを保護するため後戻りさせるのは、車のアクセルとブレーキ踏むような「行き過ぎた